

9月1日は「防災の日」 市内各地で防災訓練



(写真右上から反時計回りに)
1土砂災害の被災者を救助する消防団員ら2カッターでがれきを除去する消防署員たち3避難所運営訓練の様子4倒壊ビルに向かって放水する消防団員たち(いずれも京都府総合防災訓練)

八幡市域に豪雨と震度7想定 京都府総合防災訓練 9月3日 約70機関1000人が参加



いつ発生するかわからない災害に備えるために、防災意識を高めようと、9月は市内各地で防災訓練が行われました。

■救出・救助や水防避難所運営も
9月3日には、京都府や八幡市、近隣市町の防災会議主催で京都府総合防災訓練が市民スポーツ公園・市民体育館で行われ、消防本部や消防団、自衛隊など、約70機関、1000人が参加しました。

同訓練は、八幡市域での局地的豪雨と震度7の直下型地震の複合災害の発生による、河川の氾濫やビルの倒壊、土砂災害などを想定し、被災者の救助や避難所運営など、さまざまな訓練が実施されました。

土砂災害からの救出・救助訓練では、消防署員や消防団員らが、土砂崩れで倒壊した家屋に取り残された被災者らを迅速に救出。水防訓練では、市職員、市自主防災隊員が、河川の氾濫を食い止める「積み土



のう工法」を実践。次々と袋に土を詰めて土のうを作製し、工法を完成させるなど、災害発生時の行動を確認していました。

■地域ごとでも備え
また、9月23日には男山第3住宅管理組合、24日にはフラインガーダンスクラブ自治会など、各地域でも防災訓練が行われました。



消火器の操作訓練に取り組む住民たち(男山第3住宅管理組合)

は、AEDや消火器の操作訓練、消防署員による団地3階に取り残された住民のはしごでの救出訓練などを実施。また、市をはじめ美濃山区からも救援物資が届けられるなど、近隣地域とも連携しながら、防災への意識を高めていました。

9月14日、祖父母参観がわかたけ保育園で行われ、0〜5歳児約140人が歌や踊りを披露しました。

祖父母参観は、いつも大切にしてくれる祖父母や地域の老人クラブの人たちに、園児たちが感謝の気持ちを伝えようと、毎年、「敬老の日」前後に行われています。

はじめに登場した0〜2歳児たちは、みんなで「ア

わかたけ保育園で祖父母参観



祖父母らに歌と踊りを披露する園児たち

また、3〜5歳児が染め紙を貼ったり、園で収穫したゴーヤやオクラ、ピーマンでスタンプを押したりして作ったうちわをプレゼントするなど、感謝の気持ちを目いっぱい伝えていました。

おじいちゃん
おばあちゃん
ありがとう
歌って
踊って

元気いっぱい披露

まちの話題

このページでは、市民の皆さんの活躍やまちの話題などを紹介しています。身近な話題や、広報紙についての意見を、秘書広報課までお寄せください。

堀口市長から賞状を受け取る井上三保造さん(左)



祝100歳

市長ら訪問 記念品など贈る

「敬老の日」を前に、9月9日、堀口市長と森川議長が、今年度100歳を迎えられる市民14人のうち、在宅で生活されている3人を訪問し、長寿のお祝いをしました。

今年の8月に100歳を迎えられた井上三保造さんは、ご家族そろって市長らをお出迎えされ、それぞれから、賞状と記念品を贈呈されると、毎日の暮らしなどについて話されました。

子ども2人、孫5人、ひ孫3人に恵まれた井上さんは、

「敬老の日」を前に、9月9日、堀口市長と森川議長が、今年度100歳を迎えられる市民14人のうち、在宅で生活されている3人を訪問し、長寿のお祝いをしました。

日常生活においても、入浴や洗濯を自分でされたり、ご家族と買い物に出かけられたりと、とてもお元気です。

「働くことは一番よろしいな。たくさんの人に100歳をお祝いしてもらってうれしいです」と笑顔で話されていました。

イスクリーム」や「あきのそら」の歌を披露。3〜5歳児はクラスごとに、「YシャツとTシャツとわたし」のダンスや「まほうのおまじない」「ありがとうの花」などの歌を元気いっぱい振り付きで歌い、祖父母らは園児たちのかわいらしい姿をにこやかに見つめていました。